

## A I インクルージョン推進会議 開催要綱

## 1. 目的

第4次産業革命が進展する中、我が国において、A I 活用技術「インクルージョン・テクノロジー」の実装により、多様性を内包し、持続可能な社会を実現していくためには、その実現を阻害する様々な社会的課題の解決に資する具体的なA I 関連プロジェクトに着手することが求められる。そのようなプロジェクトの速やかな実行を提言するため、本会議を開催する。

## 2. 名称

本会議は、「A I インクルージョン推進会議」と称する。

## 3. 検討事項

- (1) A I 活用技術により解決すべき社会的課題
- (2) 上記(1)の解決に必要なA I 活用技術の体系とコア技術の選定
- (3) 上記(2)の技術に関する研究開発の推進・社会実装の方法論
- (4) 実需に基づく即効性のあるA I 関連プロジェクトの提言
- (5) その他

## 4. 構成及び運営

- (1) 本会議は、大臣官房総括審議官（情報通信担当）の会議として開催する。
- (2) 本会議の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 本会議には、座長を置く。
- (4) 座長は、本会議を招集し、運営する。
- (5) 座長は、必要に応じ、本会議の構成員又はオブザーバーを追加することができる。
- (6) 座長は、必要に応じて、構成員以外の関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- (7) その他、本会議の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

## 5. 議事の公開

- (1) 本会議は、原則として公開とする。ただし、座長が必要と認める場合については、非公開とする。
- (2) 本会議で使用した資料及び議事概要は、原則として、総務省の

ウェブサイトに掲載し、公開する。ただし、公開することにより、当事者若しくは第三者の利益を害するおそれがある場合又は座長が必要と認める場合については、非公開とする。

#### 6. 開催時期

本会議は、平成 31 年 2 月から開催する。

#### 7. 庶務

本会議の庶務は、総務省情報通信政策研究所調査研究部及び情報流通行政局情報流通振興課が、関係課室の協力を得てこれを行う。

## 構成員

※敬称略、五十音順

秋山 咲恵 株式会社サキコーポレーションファウンダー

安宅 和人 慶應義塾大学環境情報学部教授／ヤフー株式会社  
CSO

アリソン・ビール  
オックスフォード大学日本事務所代表

梅屋 真一郎 株式会社野村総合研究所  
未来創発センター制度戦略研究室長

岡崎 直観 東京工業大学情報理工学院教授

座長 北野 宏明 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所  
代表取締役社長

サンジーヴ・スィンハ  
日印協カグループ・ファンド  
サン・アンド・サンズ・グループ代表

末松 弥奈子 株式会社ジャパントイムズ代表取締役会長

新居 日南恵 株式会社 manma 代表取締役社長

増島 雅和 森・濱田松本法律事務所パートナー